

試 験 報 告 書

中部製砂株式会社 殿
鳥取県東伯郡三朝町福本463-3

試験品内容：[種 別 JIS A 5308:2024 附属書JA「レディーミストコンクリート用骨材」
細骨材 砂（山砂、加工砂）✓
[採 取 日 2024年10月1日
[産 地 東伯郡三朝町福本463-2
[採 取 場 所 東伯郡三朝町福本463-2 ✓

試 験 項 目： 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）

受領日（試料持込日）： 2024年 10月 8日

試 験 日： 2024年 10月 8日 2025年 4月 18日

試 結 果： 次頁以降のとおり

特 記 事 項

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテクノ試験所 試験室
（注）1.上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2.試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3.試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 4月 28日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルテクノ試験所

所 長 井上 到

技術管理者 那良 時義



この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

(1)試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

- ・粒度調整した代表試料の粒度分布 : 粒度区分A
- ・湿度95%以上を確保した手段 : 吸取紙による被覆及び容器底面の水張り

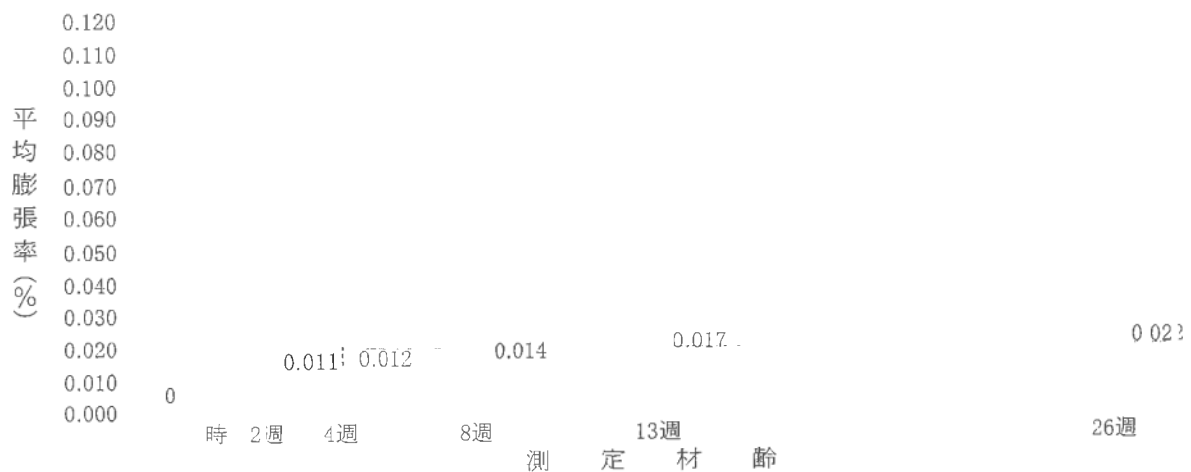
(2)使用したセメント

1.2 %

26週で0.100%未満の

「でない」としてもよい。
※、測定材齢26週まで

		13週					判定
1		0.012	0.013	0.014	0.018	0.023	
		0.011	0.012	0.014	0.016	0.021	
		0.011	0.012	0.014	0.017	0.023	
平均	0.000	0.011	0.012	0.014	0.017	0.022	
外観観察	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	



〒700-0943
岡山県岡山市南区新福一丁目21番37号
一般社団法人 岡山県コンクリート技術センター
TEL:086(264)6374 FAX:086(264)68



試品目に関する説明【客申請事項】

客の名称 株式会社 マルケイ
岡山県真庭市江川846
砕石 2005
岩石名
地
2025年2月3日

備

試験結果【試験所証明事項】

2025年2月4日
M240028
2025年8月20日
一般社団法人岡山県コンクリート技術センター試験室
試験方法 JIS A 1146:2022

モルタルの配合
セメント 600
骨材 1350
水+NaOH 300 mL

		試験結果				
		2週	4週	8週	13週	26週
試験結果	1	0.007	0.009	0.013	0.015	0.020
	2	0.007	0.010	0.013	0.015	0.021
		0.007	0.009	0.012	0.014	0.020
		0.007	0.009	0.013	0.015	0.020

判定 害 ✓
判定基準:3本の平均膨張率が, 26週後に0.100 の場合は 害とする。

本報告書は、顧客が採取し顧客が持ち込んだ試験品目に対する結果を示すものです。
当センターの事前承認なしに、この報告書の一部だけを複製して用いることは禁じられています。

以上

M240028

No	有効ゲージ長	脱型時	2W	4W	8W	13W	26W
			3月5日	3月19日	4月16日	5月21日	8月20日
標準尺		4.244	4.242	4.242	4.243	4.244	4.243
1	139.99	3.580	3.588	3.591	3.597	3.601	3.607
2	140.00	3.634	3.642	3.646	3.651	3.655	3.662
3	140.00	3.623	3.631	3.634	3.639	3.643	3.650
平均		異常無し	異常 し	異常無し	異常 し	異常 し	異常 し
			0.007	0.009	0.013	0.015	0.020
		2	0.007	0.010	0.013	0.015	0.021
		3	0.007	0.009	0.012	0.014	0.020
		平均	0.007	0.009	0.013	0.015	0.020

この写は原本記載事項と相違ないことを証明する

発行日 2025年8月21日

一般社団法人 岡山県コンクリート技術センター



発行日 令和 7 年 6 月 24 日

12月31日

【モルタルバー法】

発行責任者 センター長 小林 宏成

採取場所 ベルテクス(株)大山工場 ✓ 採取者 高原 雅彦

0.52 %

外觀觀察結果	良	良	良	良	良
--------	---	---	---	---	---

※備考 材齢13週後に0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で「無害でない」としてもよい。その場合、26週の測定を省略できる。材齢13週で0.050%未満の場合は26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。

・本書の内容を転載する場合は、文書により事前に本所の承認を得るようにして下さい。

[illegible]

材齡(週)	膨張率(%)
脱型時	0.060
2週	0.060
4週	0.060
8週	0.060
13週	0.040
26週	0.040

アルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)による膨張率



セメント 績表

2025 年(令和 7 年) 8 月度

太平 社

高 炉 セ メ ン ト B 種
JIS R 5211

品 質	J I S		試 験 成 績		J I S		J I S		試 験 成 績	
	規格値	平均値		最大値 (最小値)	規格値	平均値	最大値 (最小値)	規格値	平均値	最大値 (最小値)
密 度	g/cm³	3.16	↓			3.14				
比 表 面 積	cm²/g	2500 以上	3410	↓	56	3300 以上	4480	64	3000 以上	54
凝 結	始 発 h-min	30min 以上		(1-55)	45min 以上	1-48	(1-15)	60min 以上		
	終 結 h-min	10h 以下	3-29	↓	4-15	10h 以下	2-38	3-15	10h 以下	4-46
安 定 性		良				良	良		良	良
圧 縮 強 さ	1 d					10.0 以上				
	3 d	12.5 以上	31.4	↓				10.0 以上		
	N/mm²		46.6	↓				17.5 以上		
和 熱			62.3	↓	1			42.5 以上		
	J/g									
化 学 成 分	酸化マグネシウム		1.37	↓		5.0 以下		6.0 以下		
	三 酸 化 硫 黄	3.5 以下	2.15	↓		3.5 以下		4.0 以下		
		5.0 以下	2.31	↓	2.94	5.0 以下		5.0 以下		
	全 アル カ リ	0.75 以下	0.47	↓		0.75 以下				
	塩化物イオン	0.035 以下	0.018	↓		0.02 以下				

試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
28 d 圧縮強さ及び28 d 水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値
普通ポルトランドセメント 0.60 %
早強ポルトランドセメント 0.55 %

高炉セメントB種
ベースセメントの全アルカリ 0.47 %
高炉スラグの分量 40～45 %

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 中国支店 技術部

☎730-0811 広島市中区中島町 3 - 25

ニッセイ平和公園ビル 10F

☎ 082-504-8612



骨 材 試 験 成 績 表

工場長 品管責任者 試験係



令和 7年 8月度

和光産業(株)鳥取工場

目	加工砂 東伯郡三朝町		内 米子製鋼(株)		粗骨石 1505 岡山県真庭市神代	
	規格値	試験値	規格値	試験値	規格値	試験値
密度 表乾 (g/cm^3)	2.57 ± 0.02	2.57	2.96 ± 0.02	2.96	2.69 ± 0.02	2.69
密度 絶乾	2.5以上	2.54	2.5以上	2.93	2.5以上	2.67
吸水率(%)	3.5以下	1.28	3.0以下	0.97	3.0以下	0.63
微粒分量(%)	3.0以下	1.5	2.0 ± 2.0	0.7	1.0 ± 1.0	0.8
粘土: (%)	1.0以下	0.2				
単位容積 量(kg/l)						
粒形判定実績率(%)			54%以上	58.7		
有機不純物	淡いこと	淡い				
安定	10以下	2.1	10以下	2.6	12以下	2.1
すりへり減量(%)					40以下	16.4
塩化物量(%)	0.04以下	0.001				
圧縮力反応性	区分Aであること	区分A	区分Aであること	区分A	区分Aであること	区分A

種類	混合 容積比	規格値	ふるい分け									粗粒率 (FM)
			20	(15)	10	5	2.5	1.2	0.6	0.3	0.15	
加工砂	95%	2.70 ± 0.20	100	100	100	98	90	70	45	24	3	2.70
鑄物廃砂	5%											
碎石1505	100%	6.35 ± 0.20	100	98	61	4	1	0	0	0	0	6.34



シーカ・ジャノ

和光産業(株) 鳥取工場

御中

2025年 7月度～2025年12月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

種類 能力 (I種)
商品名 クリート ACE 390 (100%) ✓

1.

項	目	形式評価試験値	性能確認試験値
			15 ✓
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^2		
	凝結時間の差 始 発 分 終 結		-30 ✓
	経時変化量 空気量 % 材齢1日		
	材齢28日	94 ✓	135 ✓

注記 1 剤の使用量 形式評価試験

注記 2 性能 試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は試験結果である。ただし圧縮強度の性能 試験

験値は、

注記 3 この表に表示している形式評価試験は、で実施した試験結果である。

項	目	形式評価試験値	化学混和剤中の含有量	試験値
	塩化物イオン(Cl^-)量		%	n
	全アルカリ量	0.03 kg/m^3		n
注記 1	は6か月 に1回 し、この表に			の
	試験結果である。			
注記 2	この表に表示している形式評価試験は、			
	で実施した試験結果である。			

項 目 規 格 値 試 験 値

注記. この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。



コンクリート中の塩化物イオン(Cl⁻)量測定記録表

工場長 品管責任者 試験係



試験月日	令和 7年 8月 1日			
配合条件	設計基準強度	スランプ	骨材	混和剤の種類
	40.0N/mm ²	12±2.5cm	15mm	シーカビスコクリート ACE 390
測定器名	カンタブ	品種:低濃度品 (太平洋マテリアル株式会社)		

測定	1	2	3	
カンタブの読み	5.3	5.3	5.4	* 計算方法
塩素イオン濃度 %	0.0360	0.0360	0.0376	コンクリート中の塩化物含有量(kg/m³) =
単位水量 kg/m³	175	175	175	
塩化物量 kg/m³	0.0630	0.0630	0.0658	×コンクリート中の単位水量
平均値 kg/m³		0.064		
合 否 判 定				
(0. 30kg/m³ 以下)				

※測定頻度は、海砂でないため1回/月 。

カンタブの読み	塩素イオン (%)	カンタブの読み	塩素イオン (%)	カンタブの読み	塩素イオン (%)
3.0	0.0113	4.5	0.0251	6.0	0.0480
3.1	0.0120	4.6	0.0263	6.1	0.0499
3.2	0.0127	4.7	0.0276	6.2	0.0519
3.3	0.0135	4.8	0.0289	6.3	0.0539
3.4	0.0143	4.9	0.0302	6.4	0.0560
3.5	0.0151	5.0	0.0316	6.5	0.0581
3.6	0.0159	5.1	0.0330	6.6	0.0603
3.7	0.0168	5.2	0.0345	6.7	0.0626
3.8	0.0177	5.3	0.0360	6.8	0.0649
3.9	0.0187	5.4	0.0376	6.9	0.0672
4.0	0.0196	5.5	0.0392	7.0	0.0697
4.1	0.0207	5.6	0.0409	7.1	0.0721
4.2	0.0217	5.7	0.0426	7.2	0.0747
4.3	0.0228	5.8	0.0443	7.3	0.0773
4.4	0.0239	5.9	0.0461	7.4	0.0800